

市川組合長が 群馬県功労者表彰を受賞

令和四年十一月一日、群馬県庁で令和四年度群馬県功労者表彰式が行われ、市川平治組合長が表彰されました。

市川組合長の森林組合との関わりは、平成九年に倉淵森林組合理事に就任、合併検討委員として「烏川流域森林組合」の誕生に尽力しました。平成十七年には副組合長に就任。平成二十六年に組合長に就任し現在四期目を務めています。

平成十年の全国植樹祭では、記念行事の「全国林業後継者大会」実行委員長を務め、さらに大日本山林会理事、林道安全協



安全パトロールで若い職員と語り合う市川組合長

会監事、県林研グループ連絡協議会長、県森林組合連合会理事等、全国や県の団体役職を務めました。

また、県森林審議会委員、県大規模開発事業審議会委員、県林業公社理事、県生涯学習審議会委員等、県関係の各種委員も歴任しました。

これら、永年の実績が評価され今回の受賞につながったものです。

新たに導入した

無線機で救助訓練を実施

昨年十月十三日、倉淵町水沼の水沼公園を会場に、無線機を用いた救助訓練を実施しました。

訓練に用いた無線機は、作業現場での情報伝達を確実に、安全を確保するため昨年度に導入したもの。全部で二十一台あり、現場業務に携わる職員は、常に携行しています。

訓練には組合役職員二十五人、群馬県職員四人、わたらせ森林組合からはオブザーバーとして



ますます充実！

組合ホームページ

◆最近の掲載例
森林組合ホームページは、リニューアルから一年半が経過しました。皆さんに親しまれるページを目指し、新たな情報をお届けしていきます。ぜひご利用ください。

- ・実践的能力理事による市況レポート（毎月更新していきます）
- ・組合員アンケートの結果（自由記述も紹介しています）

二人が参加し、足の負傷により動けなくなった職員が、無線機を使って救助を依頼するという想定で行われました。訓練では、簡易担架の設置に手間取る場面もありましたが、無線機による情報伝達は完璧に行うことができました。



無線機で救助を求め、担架で搬送